

京北地域小中一貫教育校検討協議会だより

～子どもたちの未来のためにより良い教育環境を目指して～ 第16号

京北自治振興会・6自治会・4校PTA代表者等で組織する「検討協議会」が発行しています。

新春

京都市教育委員会に校名要望書を提出！

～「京都京北」（きょうとけいほく）を要望～



「校名要望書」提出の様子 [平成30年12月14日（金）／京都市教育委員会・教育委員室（大同生命京都ビル9階）]

「校名要望書」提出の概要

12月14日（金）、検討協議会のメンバー（京北自治振興会役員、各自治会長、4小中学校PTA会長・校長）等が京都市教育委員会を訪問し、久保敏隆代表から、小中一貫教育校の校名を「京都京北」とすることを求める要望書を在田正秀教育長に提出しました。

在田教育長、稲田教育次長、清水教育企画監をはじめとする教育委員会出席者を前に、久保代表は、「27年7月に統合要望書を提出し、この間、新校開校に向けて大きく進ちょくしていることに感謝申し上げます。この度、世界においてブランド化された『京都』を冠に付けた『京都京北』という素晴らしい地元校名案を選定することができた」と述べました。

在田教育長は、「要望書を真摯に受け止め、2月市会において、義務教育学校条例改正議案を上程し、新校名を正式決定する手続きを進めて参りたい。12月7日、市会において、新校舎整備に係る工事契約議案について承認いただいたことを受け、1月には新校舎建設工事に着手する予定。また、4小中学校と教育委員会が一体となって、地元の教育資源を活用した京北ならではの教育内容をしっかりと創りあげていく。京北地域の活性化に繋がる新しい学校づくりに向け、全国に誇る先進的な小中一貫教育校となるよう引き続き全力を傾注したい」と述べました。

今後、2月市会において、義務教育学校条例改正議案を審議いただき、議決されれば校名が正式決定される予定です。

「校名要望書」の主な内容

小中一貫教育校が、未来を担う子どもたちの健やかな成長を育む学び舎としてはもとより、地域の新しいシンボルとして京北地域の活性化の起爆剤となることを期待し、誇りや愛着を持てる校名となるよう真摯に検討を重ね、下記のとおり選定した。

地元の思いをしっかりと受け止めていただき、新校名を決定いただくよう要望する。

記

【選定校名】京都京北（きょうとけいほく）

【選定理由】京北地域には、豊かな森林が千古の昔から脈々と受け継がれ林業王国の名を轟かせ、禁裏の御柚御料地として、平安京の造営に寄与するとともに、花や緑、清流など、美しい自然を守り育ててきた。すぐれた伝統・文化・産業を継承しつつ、住む人が豊かさを実感できる「京北」は、住民にとって誇りと愛着のある地名として定着している。

また、国際化・グローバル化の時代の中で、世界に誇る古都「京都」の品格は欠かせない冠であり、この伝統の地から英知が発信される意義は大きなものがある。

京北地域の持続可能な発展を願い、未来を担う子どもたちが、郷土愛を基盤とし、グローバル社会を切り拓いていくために、将来に生きて働く資質と能力を育み、広く世界で活躍する人材育成に取り組む小中一貫教育校への夢と願いを託した校名である。

ご意見やご質問などがありましたら、各学校又は京北自治振興会までお寄せください。

- 京北第一小 TEL 852-0026 FAX 852-1600 e-mail keihoku1-s@edu.city.kyoto.jp
- 京北第二小 TEL 853-0002 FAX 853-7100 e-mail keihoku2-s@edu.city.kyoto.jp
- 京北第三小 TEL 854-0244 FAX 854-0256 e-mail keihoku3-s@edu.city.kyoto.jp
- 周山中 TEL 852-0053 FAX 852-0090 e-mail shuzan-c@edu.city.kyoto.jp
- 京北自治振興会 TEL 852-0001 FAX 852-1838

※検討協議会事務局は、京北自治振興会事務局と京都市教育委員会学校統合推進室が担います。